

令和6年度第1回寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議

日 時：令和6年5月24日（金）10：00～

場 所：寝屋川市クリーンセンター6階 多目的室

議 題：委員の紹介、本市のごみの現状と取組、第6回寝屋川市環境フェアの開催について
寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議スケジュール（予定）、その他

出席者：花嶋会長、荻野副会長、内田委員、北委員、竹川委員、掛川委員、野口委員、水井
委員、岸本委員、土保委員、森委員、石村委員

次第1．委員の紹介

（資料1に基づき、事務局より説明）

次第2．本市のごみの現状と取組

（資料2に基づき、事務局より説明）

委 員：実施事業の生ごみ処理機購入費補助についてですが、一般家庭においては家庭菜園
をしている人が少なく、実際生ごみ処理機を使うことが少ないように思います。生ご
み処理機はコストがかかりますし、千円程度のコンポストの配布を進めてはいかがで
しょうか。

会 長：事務局の方いかがでしょうか。

事務局：過去にコンポストに対しても補助がありましたが、生ごみ堆肥化・土づくり講習会
を実施していく中で、コンポストは市民が自作することができるため、補助金の対
象を電動の機器に限定した経緯がございます。

会 長：非常にいいご意見ですね。簡単な生ごみ処理キットであれば数量を増やせるのでは
ないかと思います。他に何かございませんか。

委 員：12ページと15ページについて、資源集団回収活動の団体が減少しており、回収量
が少なくなっています。コロナ禍の影響で団体数が減少したのか、もしくは、落ち
葉であれば、木が減少しているために回収量が減少しているのか等、どのように受
け取ればいいのでしょうか。

会 長：事務局お願いいたします。

事務局：団体数の減少につきましては、これまで自治会、老人会、子供会のそれぞれが活動していたのが、人口の減少により活動の継続が難しくなっているからだと思われます。例えば、自治会、老人会、子供会は、自治会に統合されるというような流れがあります。回収量の減少につきましては、スマートフォンの普及により、新聞や雑誌の数が減少していることから、回収量が減少しているのではないかと考えております。

委員：紙の使用量は、商業施設全体でも削減になっており、今後も減少していくのではないかと思います。ありがとうございました。

事務局：落葉の再資源化事業につきまして、令和５年度がかなり減少している要因は複合要素があると考えております。１点目はコロナ渦で家に引きこもっているスタイルから外へ出ていくスタイルに戻ったこと、２点目は１日、半日とかかる作業のため、活動が停滞していること、３点目は天気によって、活動の機会が延期になったこと等、様々な要素があると考えております。以上です。

会長：確かに、お気づきいただいたように、令和５年度は急に減少していますね。他に何かございませんか。

委員：３ページにごみ排出量目標値と実績値等のデータがありますが、各実施事業の数値目標は、会議の場では開示されないのか、そもそも数値目標はないのか、また寝屋川市独自の施策があれば、ご教示いただきたいです。

会長：事務局お願いいたします。

事務局：本会議でのご意見を踏まえて作成した計画が、机の上に置いている「寝屋川市一般廃棄物処理基本計画」、「令和６年度寝屋川市一般廃棄物処理実施計画」という資料になります。目標値を設定し、目標値に向けて各施策を実施しているところでございます。事業ごとの目標につきましては、数値的な目標の設定が難しいものもありますが、様々な事業を実施することにより、ごみの減量につながるよう考えております。特徴的な事業としましては、最近実施した生活協同組合おおさかパルコープと連携してのフードドライブや、リサイクル事業者と連携協定を結び、市民の方に利用を促すというものがございます。以上でございます。

会長：他に何かがご意見、ご質問等ございますか。

委員：寝屋川市には２百の自治会がありますが、資源集団回収活動で課題となっているの

は、住民の方に理解していただくにはどうしたらよいかということです。草刈りの活動を行っていますが、自治会の高齢化が進み、担い手が不足しています。報奨金や活動費をスタッフに支給しないと、活動が難しい状況です。環境総務課の方々にはご理解いただき、ありがたいと思っていますので、頑張っていけないことには仕方がないと感じています。

会 長：他に何かご意見ご質問等ございますか。

委 員：寝屋川市では分別を 11 種類に分けておりますが、他市では分別状況が違っていたり、廃プラと一緒になっていたりします。市ごとに違うのはなぜでしょうか。

会 長：お願いいたします。

事務局：委員がおっしゃるように、ごみの分別は市によって違いがございます。特に廃プラとペットボトルは市によって違います。その違いというのは、それぞれの市によって処理の仕方が違い、それに伴って分別の方法が変わってきます。寝屋川市につきましては、廃プラとペットボトルを合わせて収集し、その処理を同じ場所で行っていることが他市と違う点です。また、市の規模によっても違いがあります。例えば人口がすごく少ない地域であれば、多くの種類に分別できます。もちろん細かく分別する方が良いのですが、それぞれの市の規模に合った適切な分け方というのがあると思っております。

会 長：ありがとうございます。

委 員：以前、分別が厳しい地域に勤めていましたが、スーパーのごみ箱や駐車場への不法投棄捨てが多くありました。厳しくしすぎるのではなく、ある程度歩み寄った形で上手に考えていかないといけないと思います。今後、より厳しくされるのか、もう少し緩やかでも確実に実施できるようにするのかをお教えいただきたいです。

会 長：はい、ありがとうございます。

事務局：我々行政がリサイクル率を高めようと思えば、ごみの分別を細かくしてくのが、ごみの減量やリサイクルの方法としてはいいのですが、委員がおっしゃるように市民の方々の利便性を考慮しながら、市民の方が取り組むことができる方法を考えていかなければならないと思います。

会 長：ありがとうございます。

会 長：委員にお伺いします。各地で分別方法が異なりますが、今後どういう状況になって

いくのか、また他の自治体は、どのような状況にあるのでしょうか。

委員：分別をした方が環境には良いと認識されていますが、実は最近是一緒に集めた方が、その後のコストを減らすことができるのではないかとされており、一括回収をして、コスト削減をする取り組みが、進んでいます。単純に分別の数を増やすのではなく、住民の手間や回収後の処理のコストを含めて、いかに効率的に行うかが大事だと考えています。各自治体の処理の規模を考慮した上で、適切な取組方法を考えるべきです。寝屋川市にとっては今の方法が最適な取組方法であると思います。最後に1点質問したいことがあります。以前小学校に分別を促すような事業をされていて、非常に良い取り組みだと思ったのですが、今はもう行っていないのでしょうか。

会長：学校の給食に関する事業のことですね。

事務局：小・中学校で雑がみ・ペットボトルのキャップの回収をし、学校ごとに目標を設け、達成したら給食のデザートの内容が変わるという事業を昨年度まで行っていました。事業を実施する中で一定の役割を果たしたために、今年度からは終了しています。

会長：はい、ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等ございませんか。

委員：ペットボトルのラベルを外したほうがよいのか、外さないほうがよいのかどちらでしょうか。

事務局：ペットボトルのラベルにつきましては、はがして排出していただけると、助かります。ペットボトル本体とその周りのラベルはリサイクルの方法が違います。一緒に捨てられた場合は、ペットボトルからラベルを外すという作業を北河内4市リサイクルプラザで行っています。

会長：ありがとうございました。委員に一点質問です。寝屋川市だけではなく近辺自治体でも、コロナが収束しごみの量が増加すると思ったのですが、減少しています。物価上昇が要因の1つではないかと考えているのですが、金額ではなく物の重量として、売れている物の量は減少しているのでしょうか。

委員：まず、商業施設のごみの量自体は、昨年比で94.4ということで、4万9千キロほど減少しております。要因の1つに今まで可燃物で処理をしていた古紙、応募用紙、使い捨てのコップ等をリサイクルしていることが挙げられます。販売においては、食品は基本的には変わっていませんが、廃棄を削減することで、その分は減少して

います。衣料関係の販売数は決して増加しておらず、逆に減少しています。年々リサイクルされることが増えていますので、今後も販売数は減少していくのではないかと思います。

会 長：ありがとうございます。

委 員：あと1点、販売期限が伸びており、今までであれば破棄している商品を、期限を延ばすことで売り切っていくという点では、ごみは減少しています。

会 長：ありがとうございました。

次第3．令和6年度寝屋川市環境フェアの開催について

(資料3に基づき、事務局より説明)

会 長：それではこの件について何かご意見ご質問等ございますか。

委 員：寝屋川市消費者協会として、環境フェアに参加させていただき、発酵食品のパネルの展示や牛乳パックの工作をしますので、ぜひお立ち寄りください。お願いいたします。

会 長：他に何かお願いします。

委 員：ごみなのか資源なのか、ごみを減らすのか資源を増やすのかということを考えています。ごみというと減らさないといけないと思いますが、やはり資源が多いので、資源を増やしていけばいいと思っています。今回、行政の方に質問です。生ごみ処理機の補助金の上限が2万円ですが、今後金額を増やす予定はあるのでしょうか。

会 長：お願いいたします。

事務局：生ごみを分解又は減量する機能を有する電動式処理機を購入された方に補助を実施しております。現在、金額変更の予定はありませんが、他市の状況には注目していきたいと思っております。

委 員：我々商業者の立場から言わせていただきますと、やはり生ごみ処理機を買っていただきたいです。補助金が出るものを我々商業者が販売するシステムを作り、皆さんにPRをする等、何かお手伝いできればと思います。環境フェアのときに、補助金と、市内のお店で申し込みれば買えますといったPRをし、我々商業者を利用して欲しいと思います。また、1万円台のものを、11万世帯に配ることを考えてはいかがでしょうか。以上です。回答はいりません。

会 長：生ごみ処理機だけに限らず、地域活性化に繋がるようなものですね。ネットで買うのではなく、地域と繋がり、地域でお金が回るような仕組み作りをよろしく願いいたします。

委 員：生ごみ処理機というものはお幾らぐらいするのですか。上限 2 万円というのは、どのような感じなのか。

会 長：事務局、幾らぐらいか大体わかりますか。

事務局：商品にもよりますが大体 3 万円強のもの、5 万円以上するもの等があります。半額補助なので、実際 2 万円を補助することが多いです。

委 員：環境フェアのときに、生ごみ処理機を展示して、補助金のアピールはされるのでしょうか。

事務局：生ごみ処理機購入費補助は、ホームページや市の広報で周知しておりますが、今年度多数の申請が来ており、まもなく予算が終了する見込みであります。そのため環境フェアで補助金の周知は差し控えた方がいいと考えています。また、生ごみ処理機の展示はありませんが、ご意見を踏まえ、ごみを減らす方法を紹介することを考えていきます。

会 長：ありがとうございます。しかし、生ごみ処理機の補助金については、やめている自治体もあります。低炭素に向けて、エネルギーがかかることも踏まえ、考えていけないといけないと思います。他になれば、次に行きたいと思います。

次第 4．寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議のスケジュール(予定)について

(資料 4 に基づき、事務局より説明)

次第 5．その他

事務局：現時点では次回会議の日程は未定でございます。また会長とご相談した上で次回の会議日程を、決めさせていただき、皆様に周知させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

会 長：ありがとうございました。これで、本日予定しておりました案件はすべて終了しました。